

て用いることができる。データのファイリングが終了した試料は地質標本館と地質標本研究グループが管理しており、計測用参照試料としての利用も近い将来始まるであろう。

高レベル放射性廃棄物地層処分が地下1,000m、二酸化炭素の地中貯蔵が地下1,000mから2,000mの大深度を想定するように、開発行為が深部に及ぶにつれ、サイト選定のため多くの文献値を集めたデータベースの用途が広がっていく。それとともに、検証可能な実試料とリンクした岩石データベースの必要性が高まっているとわれわれは考える。このような課題に国立研究所時代からの蓄積を生かして取り組むことが、今、求められているのではないだろうか。

引用文献

豊 遙秋・奥山(楠瀬)康子・中野 俊・渡部芳夫・青木正博 (1992):日本の岩石と鉱物. 東海大出版会, 150p.
 地質調査所 (1992): 100万分の1日本地質図(第3版), 地質調査所.
 地質調査所 (1995): 100万分の1日本地質図(第3版) CD-ROM版, 地質調査所.
 長 秋雄 (1993): 岩石の破壊強度から求められた地殻強度と地殻での高圧型破壊の可能性, 地学雑, 102, 279-287.

核燃料サイクル開発機構 (1999): 「地層処分研究開発第2次取りまとめ第2ドラフト」総論レポート, 核燃料サイクル機構.
 雷 興林・長谷川 功・野呂春文・脇田浩二 (1999): 地質情報表示・解析用簡易GISソフト-GeomapZの開発, 情報地質, 10, 247-255.
 都城秋穂 (1979): 北アメリカ, 都城ほか, 「世界の地質」, 岩波書店, 99-142.
 村田泰章・鹿野和彦 (1995): 「100万分の1日本地質図(第3版) CD-ROM版」から求めた日本列島を構成する岩石の分布面積, 地質ニュース, no.493, 26-29.
 奥山(楠瀬)康子・二宮芳樹・雷 興林 (2000): 日本列島地殻モデル構築のための計測用標準岩石の整備とデータベース化, 地質調査所速報「放射性廃棄物地層処分に関する解析・評価」平成11年度報告書, 9-10.
 Togashi,S., Imai,I., Okuyama-Kusunose,Y., Tanaka,T., Okai,T., Koma,T. and Murata,Y. (2000): Young upper crustal chemical composition of theorogenic Japan Arc Geochem. Geoph. Geosys.,1. (電子ジャーナル).
 富樫茂子・今井 登・奥山(楠瀬)康子・田中 剛・岡井貴司・柏武・村田泰章・青山秀喜 (2001): 日本列島の「クラーク数」-若い島弧の上部地殻の元素存在度, 地質ニュース, no.558, 25-33.

OKUYAMA Yasuko, KUSUNOSE Kinichiro, CHO Akio, LEI Xing-Lin, NINOMIYA Yoshiki, TOGASHI Shigecko and IMAI Noboru (2002): Toward the development of standard rock specimens for geoscientific measurements.

< 受付: 2002年1月21日 >

お知らせ

特別展示「切手の鉱物」
および講演「鉱物の世界」

地質標本館の行事

「鉱物の切手-世界の鉱物切手コレクションから」

期間: 4月16日(火)~6月16日(日)

秋田大学丸山教授が世界中から収集した鉱物切手コレクションと鉱物標本と一緒に展示します。

また、下記の通り特別講演も行います。

「特別講演: 鉱物の世界」 4月18日(木)

第1回: 10時から12時, 第2回: 13時から15時
演題は、

「鉱物の名前とその由来」
地質標本館長 豊 遙秋

「温泉から生まれる鉱物」
地圏資源環境研究部門総括研究員 青木 正博
場所: 地質標本館映像室

科学技術週間の地質標本館
 【特別展示】4月16日(火)~6月16日(日)
切手の鉱物
 ー世界の鉱物切手コレクションからー
 【特別講演: 鉱物の世界】4月18日(木)
鉱物の名前とその由来
 地質標本館長 豊 遙秋
温泉から生まれる鉱物
 地圏資源環境研究部門総括研究員 青木正博
 第1回: 10時~12時
 第2回: 13時~15時
 産業技術総合研究所 地質標本館
 つくば市要1-1-1
 TEL: 0293-61-3750/3751
 http://www.aist.go.jp/muse/